

# 朝焼け色のバス停

みつむら けいすけ

# 朝焼け色のバス停

みつむらけいすけ

舞台は暗いまま、バスの扉の開閉音が聞こえる。  
バス、出発する。誰かの声と舞台に駆け込んでくる足音  
が聞こえる。

## 【登場人物】

青山 葉月「あおやま はづき」(女) 高校三年生  
橋本 凜花「はしもと りんか」(女) 高校三年生  
北川 みなみ「きたがわ みなみ」(女) 高校三年生  
佐野 芹那「さの せりな」(女) 高校三年生  
大石 隆斗「おおいし たかと」(男) 高校三年生  
森 豊「もり ゆたか」(男) 高校三年生  
高城 康介「たかぎ こうすけ」(男) 高校三年生

凜花

乗りまーす！

舞台が明るくなる。とある高校前のバス停。冬の夕方。  
二人の女子高生がいる。一人(青山葉月)はベンチに腰  
かけ、携帯電話を操作している。もう一人(橋本凜花)  
は息を弾ませながら、バスが去ったほうを立って見つめ  
ている。

そこへ一人の女子高生(北川みなみ)が駆け込んでくる。

みなみ ちよつと。凜花速い。

凜花 今の見た？

みなみ 何？

凜花 あの運転手、ウチと目え合ったのに出発しやがった。

みなみ マジで？

凜花 絶対合った。ったく。これだから市バスは。

みなみ まあまあ。

女子高生(佐野芹那)が小走り(?)でやってくる。

芹那 行っちゃった？

凜花 芹那遅い。

芹那 ごめんごめん。

みなみ てか走りなよ。

芹那 走ってたよ？

みなみ ほとんど歩いてたじゃん。

凜花 あ、葉月。

葉月 お疲れ。

芹那 バス乗らなかつたの？

葉月 うん。人待ち。

芹那 そっか。

みなみ 部活は？

葉月 休み。

みなみ マジか。

凜花 もうすぐ卒業なのに部活休みとか。

葉月 そう。数少ない私の楽しみを…。

芹那 でも葉月、他にも楽しみあるじゃん。

凜花 え、何？

芹那 あー、えつと…。

葉月 あれだよ。趣味とか、諸々。

みなみ 何それ。なんか誤魔化された感じー。

葉月 そんなことないよー。

凜花 てか、卒業といえばさ。

みなみ 何？

凜花、咳払い。

芹那 どうしたの。改まって。

凜花 ウチ、卒業式の日に告ります。

みなみ 痛風持ちだって？

芹那 それ皆知ってるよ。

凜花 あ、バレてた？ って違うわ。愛のこ・く・は・く。

みなみ うえええ。マジで？

凜花 うえええって言うな。

芹那 誰に誰に？

凜花 誰だと思う？ 誰だと思う？

みなみ 焦らさないで早く。

葉月 サッカー部の近藤とか？

間。

葉月 え、何？

みなみ いや、近藤は凜花のタイプじゃないって。

芹那 そうだよ。

葉月 そう？

凜花 …。

みなみ え、凶星？

芹那 うそ。

凜花 そんなのあるわけないわけないじゃん。

みなみ どっちだよ。

葉月 当たり前なんだ。

芹那 ホントに？

みなみ マジで？

葉月 近藤のどこがいいの？

凜花 くるぶし。

間。

凜以外 は？

凜花 ほら、ここの足首の下にあるボコツと出たところ。

葉月 いや、くるぶしが何かは皆知ってるから。

凜花 ああ、良かった。

みなみ え、何？ 凜花はそういう…え？

芹那 みなみ、落ち着いて。

凜花 めっちゃセクシーやん。近藤のくるぶし。

葉月 ごめん。覚えがない。

凜花 たまに見に行くんやて。近藤のくるぶしが部活してるとこ。

芹那 近藤が、ね。近藤が。

みなみ 近藤が好きなんじゃなくて、そのくるぶしが好きなの？

凜花 そう言ってもらって間違いではない。

みなみ マジで？

凜花 もう思い出ただけで胸が高鳴る。

みなみ うえー…。

葉月 初めて聞いたよ。くるぶしに興奮する女子高生。

芹那 愛の形は人それぞれってやつだね。

みなみ でも、それならあたしの愛の方が大きいね。

凜花 へ？

葉月 まさか。みなみも近藤のこと…。

凜花 そうなの？

みなみ うん。

芹那 えー。

凜花 やっぱ、くるぶし？

みなみ 違うわ。あたしは、近藤の外見も中身も好きなの。

葉月 そんなに良かったつけ？ 近藤。

みなみ うん。話したことないけど、分かる。

芹那 話したことないのに好きなの？

みなみ うん。

葉月 何でそんな堂々と…。

みなみ あいつはきつと、優しい男だよ。

葉月 何で？

みなみ 目を見りや分かる。

葉月 んなバカな。

みなみ 多分、妹に勉強教えたり、家事の手伝いをするいい奴だよ。  
凜花 え、近藤って妹いるの？  
みなみ 知らない。  
葉月 想像かい。  
芹那 きつととか多分とか、近藤のこと全然知らないじゃん。  
みなみ これからお互いのことを知っていくというか。  
凜花 そんなんで、よく近藤のこと好きとか言えるね。  
みなみ うっさいな。愛の形は人それぞれなんだよ。  
芹那 みなみがその程度なら、私の方が近藤のこと知ってるよ。  
みなみ え？  
芹那 近藤。妹さんいるよ。  
凜花 ああ、いるんだ。  
みなみ ほら、やっぱり。  
芹那 やっぱりって勘でしょ。  
みなみ そうだけどさ。  
葉月 てか何で妹いるって知ってるの？  
凜花 芹那って、くるぶしと仲良かったっけ？  
葉月 近藤ね。  
凜花 ああ、近藤と。  
芹那 いや、その、小耳に挟んだというか。  
凜花 へえ。  
みなみ あ、近藤といえばさ。  
凜花 何？

みなみ こないだ駅前のアイスクリーム屋に友達といたんだよね。  
凜花 マジで？ 何食べてた？  
みなみ チョコミント。  
凜花 チョコミント好きなのかあ。  
みなみ あたし、齒磨き粉みたいな味してダメ。  
凜花 あー、分かる分かる。ウチも。  
みなみ だよな？ 今日も寄って行こうかな。  
芹那 今日はいないよ。  
凜花 え、何で？  
芹那 近藤達が駅前のアイスクリーム屋に行く頻度は二週間に一回。それから、必ず金曜日に行くから。  
みなみ へえ…。  
凜花 今日何曜日？  
葉月 木曜。  
芹那 あと、チョコミントじゃないよ。  
みなみ え？  
芹那 近藤が好きなのはオレオチョコミントね。チョコミントのオレオクッキーが入ったやつ。  
みなみ そ、そうなんだ。ごめん。  
凜花 何でそんなに詳しいの？  
芹那 え、それは…なんていうか…。  
凜花 何、ストーカーでもしてんのー？  
みなみ んなわけないでしょー。

葉月 そうだよ。いくら何でもそれはない。  
凜花 まあそっか。

間。

芹以外 え？

芹那 え？

みなみ もしかして凶星？

凜花 うそ。

芹那 ん、んなわけないじゃん。

葉月 何でちよつと動揺してんの。

芹那 それは…。

葉月 当たり前なんだ。

みなみ マジで？

凜花 犯罪じゃん。

芹那 違う、違うの。四六時中見張ってるわけじゃなくて。

凜花 四六時中ではないけど？

葉月 見張ってはいるんだ？

みなみ うえええ。

芹那 見張ってるって言うて語弊が…。

みなみ やばい。鳥肌。

凜花 ウチも。ゾツとした。

芹那 どっちかって言うて、見守ってる的な？

葉月 余計怖いよ。

みなみ え、ねえ。ってことはさ、芹那も近藤のこと…。

芹那 好きだよ。近藤の全てを愛してる。

凜花 芹那が言うて、やけに生々しい。

芹那 ありがとう。

凜花 褒めてないよ？

芹那 え？

凜花 まさか芹那がそういう子だとは…。

みなみ 意外だね。

芹那 人を見た目で判断するの、良くないよ。

みなみ その台詞ね、多分使うとこ間違ってる。

芹那 え？

葉月 で、三人とも、告白するの？

三人 うん。

凜花 え、ちよつと待ってよ。

みなみ 何？

凜花 二人は身を引くべきでしょ。

み・芹 何で？

凜花 告るって先に言い出したのはウチなんだからさ。

みなみ そんなの関係ないよ。なあ？

芹那 うん。だって私の愛が一番大きいもん。

みなみ は？

凜花 それを言うならウチが一番だし。

みなみ 他のくるぶしで我慢しろよ。

凜花 近藤のくるぶしじゃなきゃ駄目なの。

みなみ それ逆に近藤に失礼でしょ。近藤良い所いっぱいあるよ？

凜花 それも想像でしょ。

芹那 絶対、私が近藤のこと一番分かってる。

凜花 いや、あんたの「分かってる」は異常だから。

芹那 何それ。人を変態みたいに。

凜・み 変態じゃん。

芹那 ちーがーう。

葉月 でもさ、なんか虚しくない？

凜花 何で？

葉月 告つてもさ、卒業したらお別れなんだよ？

みなみ そりゃそうだけど…。

芹那 近藤、卒業したら地元出て行くってお母さんに話してた。

凜花 盗聴もしてんの？

芹那 盗聴って言う用語が…。

葉月 どうして告白するの？ 告つても、傷つくだけじゃん。

みなみ 傷つくとは限らないじゃん。

凜花 そうだよ。

みなみ 今は携帯がある。遠距離でも付き合っていけるじゃん。

葉月 本気で言ってるの？

みなみ …本気だよ。

葉月 そう。私なら、耐えられないな。

凜花 どうして？

葉月 だって辛いじゃん。好きなのに傍にいられないんだよ？

芹那 葉月…。

葉月 結局、いつかは絶対別れが来るんだよ。絶対に。

芹那 …そうだとしても、私は伝えたい。

葉月 何で…。

芹那 だって後悔したくないもん。

みなみ うん。

芹那 傷つくかもしれないけど、それを怖がってちゃ何もできな

いじゃん。

間。

凜花 ねえ、やっぱ三人で告りに行こっか？

みなみ 急にどうしたの？

凜花 だってさ、二人に負ける気しないもん。

芹那 何それ。

みなみ きつと近藤はあたしを選ぶ。

凜花 きつと？

みなみ 絶対。

芹那 あ、来た。

バスが停まる。

みなみ んじゃ。  
芹那 またね。  
凜花 また明日。  
葉月 うん、バイバイ。

扉の開閉音。

バス、凜花とみなみ、芹那を乗せて出発する。  
葉月、ベンチに腰掛けて携帯を操作し始める。  
しばらくして男子高校生二人（森豊と大石隆斗）がやっ  
てくる。森は自転車を押している。

大石 青山じゃん。  
葉月 あ、お疲れー。  
大石 お疲れ。  
森 あれ、部活は？  
葉月 早く終わったから。  
森 そっか。  
葉月 森君、久しぶりだよね。  
森 ああ、久しぶり。  
葉月 何してたの？  
森 まあ、色々。  
葉月 出席日数大丈夫？

森 ヤバイかも。  
大石 マジで？  
森 担任にもさっき言われた。  
葉月 先生から言われるって相当じゃない？  
森 多分。  
大石 ま、明日からはちゃんと来いよ。  
森 いや…。  
大石 いやって何だよ。  
森 そのことなんだけどさ。  
葉月 何？  
森 おれ、もう明日から来られないと思う。  
大石 は？  
葉月 何で？  
森 実はさ、だいぶ前に彼女できて。  
大石 ノロケかよ。  
森 え、いついつ？  
葉月 ちようど、おれが学校休み出したあたり。  
大石 へえ。  
森 それで？  
葉月 その子、放っておくと、リスカとかしちゃう子でさ。  
森 ああ。  
葉月 「高さが足りない」って言うんだよ。  
大石 高さ？



森 あれくらいの高さの歩道橋を彼女と渡ったことがあって。  
葉月 うん。  
森 飛び降りて死ぬには高さが足りないって。  
葉・大 …。  
森 それで一度自殺未遂っていうの？ それで病院運ばれたことあって。  
大石 親は？  
森 治らないなら治療はいらないって強引に退院させたらしい。  
大石 それでも親かよ。  
森 元々父親は外で遊んでるような人だし、母親は食事もろくに作らないような人だって。  
葉月 ひどい。  
森 でも、「楽になった」って言ってた。  
葉月 「楽になった」？  
森 一度死ぬって考えたら、気持ちが一瞬と楽になったって。  
葉月 …。  
森 そんな時おれ、どうすればいいのかなって思ってた。  
大石 どうするって？  
森 例えば彼女が自殺しようとした時。  
大石 止めるべきだろ。  
森 分かんないよ。  
葉月 どうして？  
森 だって、彼女にとっては死ぬ事が幸せなのかもしれないし。

大石 んなわけねえだろ。  
森 そうじゃないって言い切れるか？  
大石 それは…。  
森 自殺はいけなくて誰が決めたんだろう。  
大石 誰がとか関係ないだろ。  
森 「自殺はいけない」なんて、周りの人のエゴじゃないかな。  
葉月 どういうこと？  
森 周りの人が悲しむから死ぬなって言ってるみたい。  
葉月 そうかな。  
森 人が死んだって皆すぐ忘れていくのに。  
葉月 それは違うよ。  
森 どうして？  
葉月 いつまでも後ろばかり向いてるわけにはいかないから。胸の内には秘めてるけど、死んだ人のことを忘れたわけじゃない。  
森 そうかな。  
葉月 うん。きつとそう。それに、森君の彼女は幸せだよ。  
森 何で？  
葉月 森君がいるもん。  
森 え…。  
葉月 彼女が死んでも、森君がちゃんと覚えてるから。  
森 …。  
葉月 それに彼女が死んだら、森君が悲しむでしょ？  
森 うん。

葉月 もし彼女が自殺しそうになったら森君は堂々と止めればい  
いと思う。

間。

大石 おれ、まだわかんねえんだけど。

葉月 何が？

大石 何でお前は学校休むの？

森 だから、彼女の傍にいないと…。

大石 自殺しそうだから？

森 うん。

大石 何でお前が傍にいなきやいけないんだよ。

森 だから、彼女は情緒不安定で。

大石 だから、何でお前じゃなきや駄目なんだよ。

森 何でって…。

大石 お前、彼女を言い訳にしてるだけなんじゃねえの？

葉月 ちよつと、大石。

森 違うよ。

大石 ここまで来て留年すんの？

森 大丈夫だよ。うちの親、放任主義だから…。

大石 そうじゃねえよ。

森 何？

大石 何で赤の他人のために…。

森 他人じゃない。

大石 彼女でも所詮他人だろ。

森 …何でそんな言い方するんだよ。

大石 後悔するからだよ。

森 しないよ。

大石 今まで長続きしたことねえじゃん。

森 今までがそうだったからって、これからは同じとは限らな  
い。

間。

大石 勝手にしろよ。

葉月 大石。

森 …じゃあ、おれ帰るわ。

葉月 森君。

森 今日は、それだけ伝えるつもりだったから。ごめんね。

葉月 ううん。

森 また、会えたら。

葉月 うん、またね。

森、自転車に乗ってハケる。

間。

大石 おれ、冷たいかな。  
葉月 冷たい？  
大石 所詮人は他人同士、だなんて。  
葉月 …うん。そんなことないと思う。  
大石 ただ一緒に卒業したいだけなのに。  
葉月 難しいね。  
大石 ちよつと自分勝手だったかな。  
葉月 何で？  
大石 どうせ卒業したら離れ離れになるんだからさ。  
葉月 そんなことない。大事なことだと思うよ。  
大石 そうかな。  
葉月 心のどこかで森君のこと、切り離せないんでしょ？  
大石 そうなのかな。  
葉月 森君も同じ気持ちだったんじゃないかな。  
大石 どういう意味？  
葉月 森君も彼女の事、他人だからって切り離せなかったのかも。  
大石 ああ…。今やつと分かった気がする。  
葉月 …。  
大石 遅いな。  
葉月 遅いね。  
大石 …なんか、子どもっぽいな、おれ。  
葉月 そんなことないよ。むしろ羨ましい。  
大石 羨ましい？

葉月 だって、自分の気持ちを素直に伝えられるんだもん。  
大石 そうか？  
葉月 うん。別れたくないって…私なら言えないや。  
大石 どうして？  
葉月 だって、そんなこと言ったって…。  
間。  
大石 よく分かんないけどさ。  
葉月 うん。  
大石 青山も言えればいいと思う。素直な気持ちをさ。  
葉月 うん。  
大石 伝えてみたら、変わることもあるかもしれないし。  
葉月 そうかな。  
大石 …。  
葉月 ありがとう。  
大石 大石、遠くにバスを見つける。思い立ったように定期券を探し始める。  
葉月 来た？  
大石 ああ。(定期券を出す)  
葉月 私、人を待ってるから。

大石 そっか。また明日な。  
葉月 うん。また明日。

バスが停まる。扉の開閉音。  
バス、大石を乗せて出発する。  
葉月、ベンチに腰掛けて携帯を操作し始める。  
しばらくして一人の男子高校生（高城康介）がやってくる。

康介 お疲れ。  
葉月 お疲れ。  
康介 今日やった？  
葉月 ううん。集まったけど、すぐ解散した。  
康介 やっぱ？ 見当たらなかったからさ。  
葉月 人が全然集まらなくて。  
康介 寒いもんなあ。  
葉月 違うよ。インフル。  
康介 ああ。流行ってるもんな。  
葉月 本番近いのに。  
康介 今年は何やんの？  
葉月 演出。  
康介 演出って？  
葉月 監督みたいなもん。

康介 へえ。カーデイガンとか首に巻くの？  
葉月 巻かないけど。  
康介 ふーん。てかさ。  
葉月 うん。  
康介 そんなだったら、先帰ってて良かったのに。  
葉月 ううん。待っていたかったから。  
康介 そっか。

間。

葉月 ねえ。  
康介 何？  
葉月 康介は地元に残るの？  
康介 うん。おれは岐阜を愛してるから。  
葉月 嘘だ。「岐阜なんて何もねえ」って言ってたじゃん。  
康介 そうだったけ？  
葉月 言ってた言ってた。  
康介 忘れた。  
葉月 都合良いなあ。そういう時だけ…。  
康介 まあまあ。

間。

葉月 うーん。康介が教師って、想像できんー。

康介 そう？

葉月 そう。

康介 ま、おれが教師になったら生徒にモテモテだな。

葉月 ありえんわー。

康介 ありえるわ。

葉月 うーん…。

康介 何、東京行くの怖くなったの？

葉月 そんなことないよ。楽しみでウキウキしてる。

康介 嘘くさ。

葉月 そんなことないもん。

康介 すぐ泣いて帰ってくるだろ。

葉月 エンジョイするし。一〇九とか行きまくるし。

康介 そんな暇あんのかよ。

葉月 それくらいあるよ。

康介 東京の劇団って、やっぱ違うのかな。

葉月 そりゃね。

康介 東京人に騙されるなよ。

葉月 そっちこそ、モンスターペアレントに泣かされるなよ。

康介 うるせえ。

二人、笑いあう。

間。

康介 おれら、付き合っただれくらい？

葉月 一年くらい。

康介 一年か。

葉月 うん。

康介 一年か。

葉月 だから、そうだよ。

康介 長いな。

葉月 短かったよ。

康介 ……そうだな。

間。

葉月 ねえ。

康介 うん。

葉月 別れよつか。

康介 ……うん。

間。

康介 おれ、今日歩いて帰るわ。

葉月 え、遠くない？

康介 ううん。駅までだから。頭冷やして帰る。

葉月 そっか。

康介 また連絡する。

葉月 うん。

康介 じゃあ。

葉月 …うん。

康介、歩き出す。

葉月 待つて。

康介、足を止めて葉月の方を振り返る。

葉月 最後に伝えたいことがあるの。

二人、ストップモーション。

夕日が差し込む。溶暗。

幕